

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : MOLYKOTE (R) 1000 SPRAY

製品コード : 000000000003253821, 000000000003253821

供給者情報

供給者の会社名称 : 東レ・ダウコーニング株式会社

住所 : 〒100-0004東京都千代田区大手町1丁目5番1号

電話番号 : 03-3287-8300 (お問い合わせ先)

緊急連絡電話番号 : 0436-21-3101

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 潤滑剤および潤滑剤添加物

2. 危険有害性の要約

GHS分類

エアゾール : 区分1

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分3

水生環境有害性(急性) : 区分1

水生環境有害性(長期間) : 区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H222 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。
H229 圧力容器 : 熱くなると破裂することがある。
H315 皮膚刺激。
H336 眠気又はめまいのおそれ。

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

: 安全対策:

P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。

P211 裸火又は他の着火源に噴霧 しないこと。

P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

P261 スプレー吸入を避けること。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋を着用すること。

: 応急措置:

P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。

P304 + P340 + P312 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P391 漏出物を回収すること。

: 保管:

P405 施錠して保管すること。

P410 + P412 日光から保護してください。40°C/104°Fを超える温度にさらさないでください。

: 廃棄:

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 炭化水素噴射剤エアゾール

危険有害成分

化学名	CAS番号	含有量 (% w/w)	官報公示整理番号
ブタン	106-97-8	>= 20 - < 30	2-4
ナフサ、石油、軽アルキレート	64741-66-8	>= 20 - < 30	
フッ化カルシウム	7789-75-5	>= 1 - < 10	1-179
蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン	64742-56-9	>= 1 - < 10	

版番号 1.1 作成改訂日: 2015/10/16 整理番号: 1991716-00002 前回作成改訂日: 2015/05/04
初回作成日: 2015/05/04

系 基材油 - 不特定			
蒸留物（石油）、溶媒脱蠟重質パラフィン系	64742-65-0	>= 1 - < 10	
グラファイト	7782-42-5	>= 1 - < 10	
銅（金属粉）	7440-50-8	>= 1 - < 10	
亜鉛	7440-66-6	>= 1 - < 10	
二酸化ケイ素	7631-86-9	>= 0.1 - < 1	1-548
N-タローアルキルトリメチレンジアミンオレート	61791-53-5	>= 0.1 - < 1	2-975 8-344

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医師の診察を受ける。
症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の指示を受ける。
- 吸入した場合 : 吸い込んだ場合、新鮮な空気のところへ移動する。
症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 接触した場合、直ちに多量の水で少なくとも 15 分間皮膚を洗い流しながら、汚染した衣服と靴を脱ぐ。
医療処置を受ける。
再使用前に衣服を洗う。
靴を再使用する前に完全に洗う。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。
刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合、無理に吐かせない。
症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。
水で口をよくすすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 皮膚刺激。
眠気又はめまいのおそれ。
- 応急措置をする者の保護 : 救命救急要員は自らの安全に注意を払い、推奨されている保護衣を使用すること。曝露の可能性がある場合は、項目8の適切な個人保護具を参照のこと。
- 医師に対する特別な注意事項 : 支持療法および対症療法を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水スプレー
耐アルコール泡消火剤

版番号 1.1	作成改訂日: 2015/10/16	整理番号: 1991716-00002	前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04
------------	----------------------	------------------------	--

	二酸化炭素 (CO2) 粉末消火剤
使ってはならない消火剤	: 知見なし。
特有の危険有害性	: かなりの距離にわたり逆火が考えられる。 蒸気は空気と混合して爆発性になることがある。 燃焼生成物への曝露は健康に害を及ぼす場合がある。 蒸気圧が高いため温度が上昇すると容器が破裂する危険がある。
有害燃焼副産物	: 炭素酸化物 フッ素化合物 金属酸化物
特有の消火方法	: 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。 区域より退避させること。
消火を行う者の保護	: 火災時には、自給式呼吸器を着用する。 保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 付近の発火源となるものを取り除く。 保護具を使用する。 安全な取り扱いの助言や、個人保護具の推奨事項に従う。
環境に対する注意事項	: 環境への放出は必ず避けなければならない。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。 汚染された洗い水を保持し、処理する。 流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 防爆用工具を使用しなければならない。 不活性な吸収材で吸収させる。 ガス／蒸気／ミストを水スプレージェットで抑える（除去する）。 多量にこぼれた場合、防液堤を築く等の適切な封じ込め手段を講じて、広がらないようにすること。防液堤に使用した資材をポンプで吸い上げることができる場合には、回収した物質を適切な容器内に保管する。 漏洩物質を適切な吸収剤で除去すること。 本物質を放出および廃棄処理する際、および、その浄化に使

版番号 1.1	作成改訂日: 2015/10/16	整理番号: 1991716-00002	前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04
------------	----------------------	------------------------	--

用した資材や品目を廃棄する際には、地方自治体や国の規則が適用されることがある。どの規則が適用されるかを決定する必要がある。
本SDSの項目13および15では、特定の地域または国の基準に関する情報が掲載されている。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。
- 局所排気, 全体換気 : 局所換気を行い使用する。
防爆型排気ガス換気装置を備えた区域においてのみ使用する。
- 安全取扱注意事項 : 皮膚や衣服に付けない。
蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。
飲み込まない。
眼との接触を避ける。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
熱や発火源から遠ざける。
静電気放電に対して予防処置手段をとること。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
- 接触回避 : 酸化剤
- 衛生対策 : 作業場の近くに目の洗浄装置と安全シャワーが設置されていることを確認する。
使用中は飲食及び喫煙を禁止する。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
消費者向けエアゾールのシリコン/有機油の使用に関する詳細情報については、北米シリコン工業会 (www. SEHSC. com) 作成の「シリコン系材料を用いるエアゾール用途に関するガイダンス」を参照するか弊社営業へお問合せください。

保管

- 安全な保管条件 : 適切なラベルのついた容器に入れておく。
施錠して保管すること。
涼しい、換気の良い場所で保管する。
各国の規定に従って保管する。
使用後でも穴を開けたり燃やさないでください。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
- 混触禁止物質 : 次の製品種類といっしょに保管しない :

版番号 1.1 作成改訂日: 2015/10/16 整理番号: 1991716-00002 前回作成改訂日: 2015/05/04
初回作成日: 2015/05/04

酸化性固体
酸化性液体

安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
ブタン	106-97-8	OEL-M	500 ppm 1,200 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		STEL	1,000 ppm	ACGIH
蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟重質パラフィン系	64742-65-0	TWA (吸入濃度)	5 mg/m ³	ACGIH
蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定	64742-56-9	TWA (吸入濃度)	5 mg/m ³	ACGIH
フッ化カルシウム	7789-75-5	TWA	2.5 mg/m ³ (フッ素)	ACGIH
グラファイト	7782-42-5	OEL-M (吸入性粉)	0.5 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第1種粉塵				
		OEL-M (総粉)	2 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第1種粉塵				
		TWA (呼吸濃度)	2 mg/m ³	ACGIH
銅 (金属粉)	7440-50-8	TWA (粉塵およびミスト)	1 mg/m ³ (銅)	ACGIH
		TWA (ヒューム)	0.2 mg/m ³ (銅)	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
フッ化カルシウム	7789-75-5	フッ化物 (フッ素)	尿	シフト前 (露光停止16時間後)	2 mg/l	ACGIH BEI
		フッ化物 (フッ素)	尿	シフト終了時 (暴	3 mg/l	ACGIH BEI

版番号 1.1	作成改訂日: 2015/10/16	整理番号: 1991716-00002	前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04
------------	----------------------	------------------------	--

				露停止後 できるだけ 早く)		
--	--	--	--	----------------------	--	--

- 設備対策** : 作業場における曝露濃度を最低限に抑えること。
 防爆型排気ガス換気装置を備えた区域においてのみ使用する。
 局所換気を行い使用する。
- 保護具**
- 呼吸用保護具 : 適切な局所排気装置が供給されない場合や、曝露評価によっ
 て曝露量が推奨曝露ガイドライン以下であることが証明され
 ない場合には、呼吸用保護具を着用 すること。
- フィルタータイプ : 自給式呼吸器
- 手の保護具
- 材質 : 不浸透性手袋
- 材質 : 耐炎手袋
- 備考 : 危険物質の濃度や量により、作業場に合った化学物質防護手
 袋を選ぶこと。この製品が手袋を透過する時間は分かって
 いない。手袋を頻繁に取り替える。特殊作業に使用する上
 記の手袋の耐化学物質性を手袋の製造元に問い合わせるこ
 とを推奨する。休憩前や終業時には手を洗う。
- 眼の保護具 : 次の個人保護具を着用する :
 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 化学的耐性データおよび局所における曝露可能性の評価に基
 づいて適切な保護衣を選択すること。
 次の個人保護具を着用する :
 難燃静電気保護服。
 不浸透性の保護衣（手袋、前掛け、長靴など）を使用するこ
 とで皮膚への接触を避ける。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 溶解ガスを含むエアゾール
- 色 : 青銅
- 臭い : かすか
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし

版番号 1.1	作成改訂日: 2015/10/16	整理番号: 1991716-00002	前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04
------------	----------------------	------------------------	--

pH	: 非該当
融点・凝固点	: データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: 非該当
引火点	: 非該当
蒸発速度	: 非該当
燃焼性 (固体、気体)	: 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重 (密度)	: 0.60
溶解度 水溶性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度 (粘性率) 粘度	: 非該当
爆発特性	: 非爆発性
酸化特性	: この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。
分子量	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。

版番号 1.1	作成改訂日: 2015/10/16	整理番号: 1991716-00002	前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04
------------	----------------------	------------------------	--

蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。
蒸気圧が高いため温度が上昇すると容器が破裂する危険がある。
強い酸化剤と反応することがある。
150 ° C (300 ° F) を超える温度まで空气中で加熱されると、
製品はホルムアルデヒドの蒸気を発生することがある。
安全な取扱条件はホルムアルデヒドの蒸気濃度を労働衛生安全
限界値内に保つことにより維持される。

避けるべき条件 : 熱、炎、火花。
混触危険物質 : 酸化剤
危険有害な分解生成物 : 危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路の情報 : 吸入
皮膚接触
摂取
眼接触

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ブタン:

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 658 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気

ナフサ、石油、軽アルキレート:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 7.6 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 2,200 - 2,500 mg/kg
備考: 同類の材料によるデータに基づく

フッ化カルシウム:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5.07 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: ダスト/噴霧
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

蒸留物（石油）、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5.53 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: ダスト/噴霧
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 同類の材料によるデータに基づく

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

蒸留物（石油）、溶媒脱蠟重質パラフィン系:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
備考: 同類の材料によるデータに基づく

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5.53 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: ダスト/噴霧
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 同類の材料によるデータに基づく

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
備考: 同類の材料によるデータに基づく

グラファイト:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 2 mg/l
曝露時間: 4 h

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

試験環境: ダスト/噴霧
 方法: OECD 試験ガイドライン 403
 アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

銅 (金属粉) :

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 2,500 mg/kg
 方法: OECD 試験ガイドライン 423
 アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 5.11 mg/l
 曝露時間: 4 h
 試験環境: ダスト/噴霧
 方法: OECD 試験ガイドライン 436

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
 方法: OECD 試験ガイドライン 402
 アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

亜鉛:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
 方法: OECD 試験ガイドライン 401
 アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 5.41 mg/l
 曝露時間: 4 h
 試験環境: ダスト/噴霧
 方法: OECD 試験ガイドライン 403
 アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

二酸化ケイ素:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 3,300 mg/kg
 アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。
 備考: 情報は参考資料および文献を参照した。

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 2.08 mg/l
 曝露時間: 4 h
 試験環境: ダスト/噴霧
 アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
 備考: 情報は参考資料および文献を参照した。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 5,000 mg/kg

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

備考: 情報は参考資料および文献を参照した。

N-タローアルキルトリメチレンジアミンオレート:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : アセスメント: 呼吸器官に腐食性である。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

成分:

ナフサ、石油、軽アルキレート:

種: ウサギ

方法: OECD 試験ガイドライン 404

結果: 皮膚刺激性

フッ化カルシウム:

種: ウサギ

方法: OECD 試験ガイドライン 404

結果: 皮膚刺激なし

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定:

種: ウサギ

結果: 皮膚刺激なし

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟重質パラフィン系:

種: ウサギ

結果: 皮膚刺激なし

備考: 同類の材料によるデータに基づく

グラファイト:

種: ウサギ

方法: OECD 試験ガイドライン 404

結果: 皮膚刺激なし

銅 (金属粉):

種: ウサギ

方法: OECD 試験ガイドライン 404

結果: 皮膚刺激なし

二酸化ケイ素:

結果: 皮膚刺激なし

備考: 情報は参考資料および文献を参照した。

N-タローアルキルトリメチレンジアミンオレート:

結果: 3分~1時間接触すると腐食性がある

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ナフサ、石油、軽アルキレート:

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし

フッ化カルシウム:

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 405

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定:

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 405

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟重質パラフィン系:

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 405

備考: 同類の材料によるデータに基づく

グラファイト:

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし

銅 (金属粉):

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 405

亜鉛:

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 405

二酸化ケイ素:

結果: 眼への刺激なし

備考: 情報は参考資料および文献を参照した。

N-タローアルキルトリメチレンジアミンオレート:

結果: 眼に対する不可逆的影響

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。
呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ナフサ、石油、軽アルキレート:

試験タイプ: ビューラー試験
暴露の主経路: 皮膚接触
種: モルモット
結果: 陰性

フッ化カルシウム:

試験タイプ: 局所リンパ節アッセイ (LLNA)
暴露の主経路: 皮膚接触
種: マウス
方法: OECD 試験ガイドライン 429
結果: 陰性

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定:

試験タイプ: ビューラー試験
暴露の主経路: 皮膚接触
種: モルモット
方法: OECD 試験ガイドライン 406
結果: 陰性

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟重質パラフィン系:

試験タイプ: ビューラー試験
暴露の主経路: 皮膚接触
種: モルモット
方法: OECD 試験ガイドライン 406
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

グラファイト:

試験タイプ: 局所リンパ節アッセイ (LLNA)
暴露の主経路: 皮膚接触
種: マウス
結果: 陰性

銅 (金属粉):

試験タイプ: 最大化試験
暴露の主経路: 皮膚接触
種: モルモット
方法: OECD 試験ガイドライン 406
結果: 陰性

二酸化ケイ素:

アセスメント: 皮膚を過敏化させない。

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

試験タイプ: 皮膚: テストの種類 不定
 種: モルモット
 備考: 情報は参考資料および文献を参照した。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ブタン:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験 (AMES)
 結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo細胞毒性試験)
 種: ラット
 投与経路: 吸入(気体)
 方法: OECD 試験ガイドライン 474
 結果: 陰性
 備考: 同類の材料によるデータに基づく

ナフサ、石油、軽アルキレート:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: サッカロミセス・セレビシエ、遺伝子突然変異アッセイ (in vitro)
 結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo細胞毒性試験)
 種: ラット
 投与経路: 吸入
 結果: 陰性

フッ化カルシウム:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験 (AMES)
 結果: 陰性

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験 (AMES)
 方法: OECD 試験ガイドライン 471
 結果: 陰性
 備考: 同類の材料によるデータに基づく

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo細胞毒性試験)
 種: マウス
 投与経路: 腹腔内注射
 方法: OECD 試験ガイドライン 474

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟重質パラフィン系:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験 (AMES)
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo細胞毒性試験)
種: マウス
投与経路: 腹腔内注射
方法: OECD 試験ガイドライン 474
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

グラファイト:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験 (AMES)
結果: 陰性

銅 (金属粉):

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験 (AMES)
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo細胞毒性試験)
種: マウス
投与経路: 飲み込んだ場合
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, B. 12.
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

亜鉛:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: in vitro染色体異常試験
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陽性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

: 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験 (AMES)
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo細胞毒性試験)
種: ラット

版番号 1.1	作成改訂日: 2015/10/16	整理番号: 1991716-00002	前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04
------------	----------------------	------------------------	--

投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

生殖細胞変異原性 - アセスメント : 根拠が薄く生殖細胞突然変異源として分類することはできない。

二酸化ケイ素:

in vitro での遺伝毒性 : 結果: 陰性
備考: 情報は参考資料および文献を参照した。

in vivo での遺伝毒性 : 投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性
備考: 情報は参考資料および文献を参照した。

生殖細胞変異原性 - アセスメント : 動物実験では遺伝子の突然変異への影響は無かった。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ナフサ、石油、軽アルキレート:

種: マウス
投与経路: 皮膚接触
曝露時間: 102 週
結果: 陰性

フッ化カルシウム:

種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
曝露時間: 99 週
結果: 陰性

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定:

種: マウス
投与経路: 皮膚接触
曝露時間: 78 週
方法: OECD 試験ガイドライン 451
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟重質パラフィン系:

種: マウス
投与経路: 皮膚接触
曝露時間: 78 週
方法: OECD 試験ガイドライン 451

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

結果: 陰性

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ブタン:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験
種: ラット
投与経路: 吸入(気体)
方法: OECD 試験ガイドライン 422
結果: 陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験
投与経路: 吸入(気体)
方法: OECD 試験ガイドライン 422
結果: 陰性

ナフサ、石油、軽アルキレート:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 二世世代生殖毒性試験
種: ラット
投与経路: 吸入
結果: 陰性

フッ化カルシウム:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 二世世代生殖毒性試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性

蒸留物(石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 生殖/発生毒性スクリーニング試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育
種: ラット
投与経路: 皮膚接触

版番号 1.1	作成改訂日: 2015/10/16	整理番号: 1991716-00002	前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04
------------	----------------------	------------------------	--

方法: OECD 試験ガイドライン 414
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

蒸留物（石油）、溶媒脱蠟重質パラフィン系:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 生殖/発生毒性スクリーニング試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育
種: ラット
投与経路: 皮膚接触
方法: OECD 試験ガイドライン 414
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

グラファイト:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
方法: OECD 試験ガイドライン 422
結果: 陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
方法: OECD 試験ガイドライン 422
結果: 陰性

銅（金属粉）:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 二世世代生殖毒性試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
方法: OECD 試験ガイドライン 416
結果: 陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育
種: ウサギ
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性

亜鉛:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 二世世代生殖毒性試験
種: ラット

版番号 1.1 作成改訂日: 2015/10/16 整理番号: 1991716-00002 前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04

投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

眠気又はめまいのおそれ。

成分:

ナフサ、石油、軽アルキレート:
アセスメント: 眠気又はめまいのおそれ。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フッ化カルシウム:
暴露の主経路: 吸入(ダスト/噴霧/煙)
アセスメント: 濃度範囲0.2 mg/l/6h/d以下では動物における重大な健康への悪影響は無かった。

銅(金属粉):

暴露の主経路: 吸入(ダスト/噴霧/煙)
アセスメント: 濃度範囲0.2 mg/l/6h/d以下では動物における重大な健康への悪影響は無かった。

反復投与毒性

成分:

ブタン:
種: ラット
NOAEL: 9000 ppm
投与経路: 吸入(気体)
曝露時間: 6 Weeks
方法: OECD 試験ガイドライン 422

ナフサ、石油、軽アルキレート:

種: ラット
NOAEL: 10 mg/l
投与経路: 吸入(蒸気)
曝露時間: 13 Weeks
方法: OPPTS 870.3465

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

フッ化カルシウム:

種: ラット
NOAEL: 7 mg/m³
投与経路: 吸入(ダスト/噴霧/煙)
曝露時間: 28 Days

蒸留物(石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定:

種: ラット
NOAEL: 1,000 mg/kg
投与経路: 皮膚接触
曝露時間: 4 Weeks
方法: OECD 試験ガイドライン 410
備考: 同類の材料によるデータに基づく

種: ラット
NOAEL: > 980 mg/m³
投与経路: 吸入(ダスト/噴霧/煙)
曝露時間: 4 Weeks
備考: 同類の材料によるデータに基づく

蒸留物(石油)、溶媒脱蠟重質パラフィン系:

種: ウサギ
NOAEL: 1,000 mg/kg
投与経路: 皮膚接触
曝露時間: 4 Weeks
方法: OECD 試験ガイドライン 410
備考: 同類の材料によるデータに基づく

種: ラット
NOAEL: > 980 mg/m³
投与経路: 吸入(ダスト/噴霧/煙)
曝露時間: 4 Weeks
備考: 同類の材料によるデータに基づく

グラファイト:

種: ラット
NOAEL: 12 mg/m³
投与経路: 吸入(ダスト/噴霧/煙)
曝露時間: 28 Days
方法: OECD 試験ガイドライン 412

銅(金属粉):

種: ラット
NOAEL: >= 2 mg/m³
投与経路: 吸入(ダスト/噴霧/煙)
曝露時間: 28 Days

亜鉛:

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

種: ラット
 NOAEL: 31 mg/kg
 投与経路: 飲み込んだ場合
 曝露時間: 90 Days

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ナフサ、石油、軽アルキレート:

この物質または混合物は人が吸引すると毒性の危険があることが知られている。または、人による吸引毒性の危険を生じるものであると見なさなければならない。

蒸留物（石油）、溶媒脱蠟重質パラフィン系:

この物質または混合物は人が吸引すると毒性の危険があることが知られている。または、人による吸引毒性の危険を生じるものであると見なさなければならない。

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

ナフサ、石油、軽アルキレート:

魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 8.2 mg/l
 曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4.5 mg/l
 に対する毒性 曝露時間: 48 h
 方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 3.1 mg/l
 曝露時間: 72 h
 方法: OECD 試験ガイドライン 201

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 2.6 mg/l
 に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d
 方法: OECD 試験ガイドライン 211

フッ化カルシウム:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 108 mg/l
 曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 97 - 270 mg/l
 に対する毒性 曝露時間: 48 h

MOLYKOTE (R) 1000 SPRAY

TORAY

Dow Corning Toray Co., Ltd.

版番号 1.1	作成改訂日: 2015/10/16	整理番号: 1991716-00002	前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04
------------	----------------------	------------------------	--

- 藻類に対する毒性 : EC50 (Selenastrum capricornutum (緑藻)): 122 mg/l
曝露時間: 96 h
- 魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 4 mg/l
曝露時間: 21 d
- ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 8.9 mg/l
曝露時間: 21 d
- 蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定:**
- 魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203
備考: 同類の材料によるデータに基づく
- ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 10,000 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202
備考: 同類の材料によるデータに基づく
- 藻類に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 同類の材料によるデータに基づく
- ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 10 mg/l
曝露時間: 21 d
方法: OECD 試験ガイドライン 211
備考: 同類の材料によるデータに基づく
- 細菌に対する毒性 : 最大無影響濃度: > 1.93 mg/l
曝露時間: 10 min
方法: DIN 38 412 Part 8
備考: 同類の材料によるデータに基づく
- 蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟重質パラフィン系:**
- 魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203
備考: 同類の材料によるデータに基づく
- ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 10,000 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202
備考: 同類の材料によるデータに基づく

版番号 1.1	作成改訂日: 2015/10/16	整理番号: 1991716-00002	前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04
------------	----------------------	------------------------	--

藻類に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 同類の材料によるデータに基づく

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 10 mg/l
曝露時間: 21 d
方法: OECD 試験ガイドライン 211
備考: 同類の材料によるデータに基づく

細菌に対する毒性 : 最大無影響濃度: > 1.93 mg/l
曝露時間: 10 min
方法: DIN 38 412 Part 8
備考: 同類の材料によるデータに基づく

グラファイト:

魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

細菌に対する毒性 : EC50: > 1,012.5 mg/l
曝露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 209

銅 (金属粉):

魚毒性 : LC50: 8.1 µg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.792 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性 : EC50 (Chlorella vulgaris (淡水藻)): 0.333 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

M-ファクター (水生環境有害
性 (急性)) : 100

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 1 µg/l

MOLYKOTE (R) 1000 SPRAY

TORAY

Dow Corning Toray Co., Ltd.

版番号 1.1	作成改訂日: 2015/10/16	整理番号: 1991716-00002	前回作成改訂日: 2015/05/04 初回作成日: 2015/05/04
------------	----------------------	------------------------	--

M-ファクター (水生環境有害性 (長期間)) : 100

亜鉛:

魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 0.78 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.83 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類に対する毒性 : IC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 0.15 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

M-ファクター (水生環境有害性 (急性)) : 1

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.199 mg/l
曝露時間: 30 d

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.1 mg/l
曝露時間: 21 d

M-ファクター (水生環境有害性 (長期間)) : 1

細菌に対する毒性 : EC50: 5.2 mg/l
曝露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 209

N-タローアルキルトリメチレンジアミンオレート:

魚毒性 : LC50: > 0.1 - 1 mg/l
曝露時間: 96 h
備考: 同類の材料によるデータに基づく

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 0.001 - 0.01 mg/l
曝露時間: 48 h
備考: 同類の材料によるデータに基づく

藻類に対する毒性 : EC50: > 0.01 - 0.1 mg/l
曝露時間: 72 h
備考: 同類の材料によるデータに基づく

M-ファクター (水生環境有害性 (急性)) : 100

版番号 作成改訂日: 整理番号: 前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1 2015/10/16 1991716-00002 初回作成日: 2015/05/04

残留性・分解性**成分:****ブタン:**

生分解性 : 結果: 易分解性
生分解: 100 %
曝露時間: 385.5 h
備考: 同類の材料によるデータに基づく

ナフサ、石油、軽アルキレート:

生分解性 : 結果: 易分解性
生分解: 77 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301F

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟ライトパラフィン系 基材油 - 不特定:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
生分解: 2 - 4 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301B

蒸留物 (石油)、溶媒脱蠟重質パラフィン系:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
生分解: 2 - 8 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301B

N-タローアルキルトリメチレンジアミンオレート:

生分解性 : 結果: 急速分解可能
備考: 同類の材料によるデータに基づく

生体蓄積性**成分:****ブタン:**

n-オクタノール/水分係数 : log Pow: 2.31

ナフサ、石油、軽アルキレート:

n-オクタノール/水分係数 : log Pow: > 4
備考: 同類の材料によるデータに基づく

亜鉛:

生体蓄積性 : 種: 魚
生物濃縮因子 (BCF) : 177

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

- | | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | : 現地の規定に従い、処分する。 |
| 汚染容器及び包装 | : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
燃やさない。
特に指定が無い場合、新品の製品として廃棄してください。
エアゾール缶は（圧縮ガスを含め）噴霧し切って完全に空にすること。 |

14. 輸送上の注意**国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 国連番号 (UN number) | : UN 1950 |
| 国連輸送名 (Proper shipping name) | : AEROSOLS |
| 国連分類 (Class) | : 2.1 |
| 容器等級 (Packing group) | : 規制による割り当て無し |
| ラベル (Labels) | : 2.1 |

航空輸送 (IATA-DGR)

- | | |
|---|-----------------------|
| UN/ID 番号 (UN/ID number) | : UN 1950 |
| 国連輸送名 (Proper shipping name) | : Aerosols, flammable |
| 国連分類 (Class) | : 2.1 |
| 容器等級 (Packing group) | : 規制による割り当て無し |
| ラベル (Labels) | : Flammable Gas |
| 梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) | : 203 |
| 梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) | : 203 |

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 1950
 国連輸送名 (Proper shipping name) : AEROSOLS
 国連分類 (Class) : 2.1
 容器等級 (Packing group) : 規制による割り当て無し
 ラベル (Labels) : 2.1
 EmS コード (EmS Code) : F-D, S-U
 海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 非該当

MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
 供給された状態の製品には不適用。

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

15. 適用法令**関連法規****消防法**

第4類, 第1石油類, 非水溶性液体, (200 リットル), (ガスを抜いた後の残留物はこの分類に相当する)

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2 (施行令別表第9)

化学名	番号	含有量 (%)
ブタン	482	>=20 - <30
イソパラフィン系炭化水素 (オクタン)	115, 432	>=20 - <30

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

65wt%、ノナン 35wt%)		
銅及びその化合物	379	>=1 - <10
鉱油	168	>=10 - <20
シリカ	312	>=0.1 - <1

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

可燃性のガス

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

平成9年通産省告示139号に従い、高圧ガス保安法の適用を除外される

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第2, 3条危険物告示別表第1: 高圧ガス

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第1: 高圧ガス

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 供給された状態の製品には不適用。

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

非該当

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

REACH : 全成分は(予備)登録または免除されている。

ENCS/ISHL : 全ての成分が化審法/安衛法の既存物質/公表物質として収載

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

されている、または収載の対象外の成分である。

16. その他の情報

詳細情報

引用文献 : 内部技術データ、原材料SDSに基づくデータ、 OECD eChemポータルおよび欧州化学物質局 <http://echa.europa.eu/>の検索結果

以前バージョンから変更された項目は本文書では2本線で強調表示されています。

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH限界閾値 (TLV)
 ACGIH BEI : ACGIH - 生物学的暴露指標 (BEI)
 日本産業衛生学会 (許容濃度) : 許容濃度等の勧告 - I. 化学物質の許容濃度
 ACGIH / TWA : 8時間、時間加重平均
 ACGIH / STEL : 短時間暴露限界
 日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度

AIGS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意のX%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に規定のない限り; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 米国; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

版番号	作成改訂日:	整理番号:	前回作成改訂日: 2015/05/04
1.1	2015/10/16	1991716-00002	初回作成日: 2015/05/04

この安全データシート(以下「SDS」という)で提供する情報(以下「本情報」という)は、本書作成時点において、弊社の最善の知識、情報、及び信念のもとで正確であると判断したものです。本情報は、製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄及び漏洩に関するガイダンスとしてのみ作成されており、いかなる保証又は品質規格をなすものではありません。本情報は、SDSの頭書に示されている特定された製品に関するものであり、当該本製品が他の製品と組み合わせて、又はプロセス中で使用される場合、本文中に言及がない限り、有効にはならない可能性があります。本製品の使用者各位においては、本情報及び推奨事項を適用する場合に、使用者各位の最終製品における本製品の適切な評価を含めて、使用者各位の意図する方法での特定の状況における本製品の取扱い、使用、処理、及び保管について、確認願います。

JP / JA